

031

キャンプができる住宅で災害対応力を高める

取組主体

三承工業株式会社

従業員数

58人

想定災害

地震等

実施地域

岐阜県

- 低価格帯の住宅で災害時対策を実現しモデルハウスとして公開することで、顧客に住宅における災害時対応設備の提案を行う。

1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

日常的に自宅でアウトドアを楽しむことで、災害対応力を高める

- 岐阜県で建設業を営む三承工業株式会社は、地元への社会貢献を目指し、防災面でも優れた住み続けられるまちづくりに取り組んでいる。発災時に役立つテント張りや火おこし等の知識を平時から自宅で体得することで、有事の際に家族や仲間を守ることでできる住環境を作りたいと考えた同社は、平成29年に「キャンプできる庭」プロジェクトを立ち上げた。
- 同プロジェクトでは、岐阜市を拠点とするアウトドア製品のブランド「CAMP★MANIA PRODUCTS」とのコラボレーションにより、本格的なアウトドア要素を住宅に取り入れた。住宅の庭にテントを張るための芝生スペースや雨水タンク、耐火れんがで作ったコンロを設けたほか、住宅とは別に、椅子や机を収納する18㎡のコンテナハウスを設けた。このコンテナハウスは、すぐにバーベキューができる仕様になっているほか、災害時のシェルターや食料の備蓄庫としても利用可能である。
- 同社は、低価格帯の住宅をメインに販売しており、施工条件によって異なるものの、40万円程度から当該住宅の庭でキャンプできる設備の販売を行っている。また、年間4か所に建築するモデルハウスすべてに「キャンプできる庭」を併設し、実際の道具等を展示することで、アウトドアライフを疑似体験できる工夫をしている。



「キャンプできる庭」の様子

2 取組の平時における利活用の状況や効果

- 同社は、有事の際に適切な対応をするためには普段からの準備が重要と考えており、日常的にアウトドア用品を使い、慣れ親しむことを顧客に訴求している。
- また、社員及び協力業者の家族を対象に、災害に対する意識の向上を目的としたキャンプ体験を実施している。薪割り体験、屋外炊事体験等を親子で行い、絆を深めると同時に、助け合いの精神を育む機会を提供する。

3 現状の課題・今後の展開等

- 同社がある岐阜県は、外国人就労・在住者比率が高い。同社は、通訳者とパートナーを組み、住宅取得のサポート強化を行っているほか、発災時に言語や国籍が障壁となって取り残されることがないように、行政等と協力して、住宅環境整備の観点からサポートを行う方針である。

担当者の声

- 自然災害による被害が年々深刻化する中、市民の防災に対する意識は以前より高くなっています。備蓄品の確保だけでなく、マイホームにも可能な設備を整えておく必要性を地元の工務店から訴求し、有事に備えてほしいと願っています。

問合せ先

三承工業株式会社 法人番号：8200001008171

TEL：058-275-5556 FAX：058-275-5617 E-Mail：info@sunshow.jp